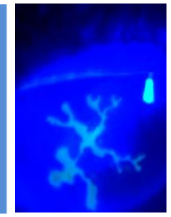
フジタガンカニュース

Vol.111 2019.12.25



色覚検査と色覚異常について❸

メリークリスマス！皆さんの元にはサンタクロースからのプレゼントが届きましたでしょうか？いよいよ今年もあとわずかですね―最近は年賀状を取りやめる方も多いそうです。メールやライン等で年始の挨拶を済ませるという事なんでしょうか？それも今の時代には合っているのかもしれんせんね。という訳で今回のフジタガンカニュース色覚異常についての解説の続きとなります。@@そもそも色覚に関しての検査の必要性というのは…いつから始まった事なのでしょうか？元々「正常の方とは色の感じ方が異なる人がいる」という認識は、文献的に1600年代から確認されており、西欧の文献以外に中国の文献にも記載があるそうです。その後、明治８年にスイスで起きた「列車の衝突事故」の原因が「運転士の色覚異常による」とされ、それを受けて当時の日本海軍では色覚異常者は採用されず、陸軍でも現役将校にはなれない規定となったそうです。この陸軍の規定が明治42年に制定、大正10年には徴兵検査の重要項目として義務教育で色覚検査(小１、小４、中１、高１の各学年で実施)を行い、学籍簿に結果を明記するようになります。昭和20年の終戦後も学籍簿への記載は継続実施、当時は色覚検査の結果が就職にも影響する事があったそうです。その後、平成６年に「色覚検査は小学校４年時に一回のみ、学籍簿への記載はなし」となり、その後前回号に記載されたような経緯にて、平成15年に学校での必須項目としての色覚検査は中止となる訳です。そもそもが「陸軍の要望で…」という所は考えさせられますね―平成を通過して令和の時代となっても昭和の時代の影響というのは名残りがある物なのですね…@@色覚異常、色覚検査の取り扱いに関しての最近の諸事情はこんな感じなんですよね。新聞などで話題になった事もあるので、ご存知の方も多いかもしれません。さて、今度は「色覚異常」ってどういう状態なの？という疑問に答えるため、やや詳しい解説の引用をしてみたいと思うのです。それでは一般的な「色覚異常」についての解説を引用してみたいと思います。http://www.nichigan.or.jp/public/disease/hoka_senten.jsp 日本眼科学会のホームページに掲載されている解説文を、まずは引用してみましょう。@@@

先天色覚異常

■色覚とは

色覚とは、可視光線（400～800 nm）の各波長に応じて起こる感覚をいいます。

網膜には、長波長（565 nm）、中波長（545 nm）、短波長（440 nm）付近の光に感度の高い視物質を持つ３種類の錐体（すいたい）が存在し、それぞれL-錐体（旧：赤錐体）、M-錐体（旧：緑錐体）、S-錐体（旧：青錐体）と呼ばれています。目に光が入るとこの錐体の視物質が応答し、その情報が網膜から視神経を伝わって大脳皮質の視覚中枢に運ばれ、色覚が起こるのです。

■色覚異常の分類

色覚異常には、先天色覚異常と後天色覚異常があります。先天色覚異常は遺伝による錐体視物質の異常でＸ連鎖性遺伝（伴性劣性遺伝）をし、日本人での頻度は男性の約5%、女性の0.2%です。それ以外の原因、たとえば目や脳内の病気などによる色覚障害を後天色覚異常といいます。

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

今月のお知らせ

今年はここまで。それでは皆さん良いお年を！

当院の年末年始の休診は以下のようなスケジュールとなっております。また来年の話なのですが**令和２年２/28(金)午後**と**令和２年２月29日(土)**は院長が角膜学会出席の為当院は**休診となります**。ご迷惑をお掛け致しますがご理解の程お願い致します。

2019年 冬季休診日程

携帯サイト用QRコード mobile phone
スマートフォン iPhone用QRコード smart phone

http://www.fujita-ganka.com

	12/28	12/29～1/3	1/4
AM	○	×	○
PM	×	×	×

※×・・・休診　○・・・通常診療

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン（コンタクトレンズ販売）
F-Vision
✆042(645)0575
✆042(642)2911